

11 月 8 日に繰り広げられた
442 年ぶりの皆既月食はご覧になりましたか？
今回は天王星が月に隠れる「天王星食」が
同時に見られるということで、多くの人が夜空を
見上げたのではないのでしょうか。
この皆既月食を、学校の地元である練馬区から
反射望遠鏡で撮影した月の画像を飾っています。
ぜひ見に来てくださいね！



■ 今月の新着図書から ■



『兄弟姉妹の心理学』 分類 141
根本裕幸 / WAVE 出版

兄弟姉妹のなかであなたはどの順番で生まれましたか？または一人っ子ですか？きょうだい間における立場は、子ども時代の性格形成に大きな影響を与えると考える心理カウンセラーの著者が、多くの事例とともに解説。私もさっそく自分の兄弟関係のページから読みました！



『街なか葉めぐり虫さんぽ』 分類 486
とよさきかんじ / ベレ出版

紅葉の美しい季節となりました。葉をめぐっても、もう虫はもういないのでは？と思わないでください。秋は秋、冬は冬越しの虫たちが隠れているようです。私は毎年のようにツバキにつくチャドクガの幼虫にやられますが、この本で初めて成虫の姿をみつけました！



『人がつくった川 荒川』 分類 517
長谷川敦 / 旬報社

現在のような交通網のなかった江戸時代。川は物流を運ぶうえでとても重要でした。しかし台風や災害で度重なる水害もおきます。今の関東が暮らしやすい環境になった背景に、江戸時代に人の手で作られた「荒川」の存在なしには語れないのだとわかりました。



『原田マハの名画鑑賞術』 分類 707
原田マハ / 幻冬舎

多くの小説を書いている原田さんです。前職は美術館のキュレーターをされました。この作品では題名どおり、さまざまな名画を観るうえでのポイントをわかりやすく解説しています。心を開いて作品を観るとはということなのか、原田さんの言葉と共に堪能して下さい。



『タスキメシ 箱根』 分類 913
額賀澤 / 小学館

来年の箱根駅伝は 99 回を迎えます。毎年お正月になると家族と一緒にテレビにくぎづけ、という人もいるでしょう。し烈な予選をくぐりぬけ、箱根の本線を走るとはどんな思いになるのか、仲間との絆は？その複雑な心情が真に迫ってきます！



『四宝堂文房具店』 分類 913
上田健次 / 小学館

銀座の路地にある文房具店が舞台。万年筆、システム手帳、メモパッドなど、文房具を介した人とのふれあいが心にじわじわと響いてくる短編集。手作業に欠かせない昔からある文房具がいとおしくなります。

ご存知ですか？館内のこのコーナー

< 郷土資料コーナー >

このコーナーでは、学校の地元である「練馬区」の資料をとりまとめておいています。区が発行するさまざまな冊子を「練馬の文化・観光」「練馬の食」「練馬の自然」「練馬の生活・町づくり」の4つに分けて収納。郷土についての研究をする人はこのコーナーの資料を活用してください。

さらに西武鉄道についての資料も集めていますので、鉄道ファンの人も注目のコーナーです！



●今月の主な館内展示

「始まりました！サッカーW杯2022」

4年に1度開催されるサッカーワールドカップ。2022年はカタール舞台にはじまりました。中東の国で開催されるのは初のことだそうです。日本は強豪ドイツやスペインと同じ組となりましたが、目標のベスト8に届くのか、また世界の高いレベルの試合もぜひ観戦したいですね。今月はカウンターの前はサッカー関連の図書や雑誌をずらりと展示中です！



『カタールワールドカップ観戦ガイド完全版』マイナビ
『フットボール代表プレースタイル図鑑』西部謙司 カンゼン
『ワールドカップの世界史』千田善 みすず書房
『サポーターをめぐる冒険』中村慎太郎 ころから
『サムライブルーの料理人』西芳照 白水社
『サッカーデータ革命』小島修 辰巳出版

他多数展示！



「ディズニー創業99年図書展」

夢のある物語を生み出し続けてきた米のウォルト・ディズニー・カンパニーが、来年創業100年を迎えます。館内では99年目ということで、現在所蔵しているディズニー関連の資料を一堂に展示。東京ディズニーランドのガイドブックは1997年版からあります。「むしろ昔のガイドは貴重なんです！」ということなので、保存しますね！

本棚 四年に一度のサッカーワールドカップがカタールで始まりました。メディアセンターでもカウンターの前ではサッカー関連の特設コーナーを設置しました。中東の国では初の開催として注目されています。が、初なのはこれだけではありません。初めての女性審判員が六人登録されたのです。そのなかの一人が、東京芸大出身の山下良美さんです。日本からの審判は男女通じて彼女一人。しかも主審としての登録です。女性の社会進出に難のあるイスラム圏において、今回の女性審判員の参加がジェンダー平等の観点からも注目の点です。日本選手だけでなく、審判をする試合も見たいです（渡邊）